



三菱UFJ証券ホールディングス

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

2022年7月

・ 連結決算ハイライト	P2
・ 業績の推移	P3
・ 連結決算サマリー	P4
・ 業務別概要	P7

Appendix

・ 連結業績推移	P8
・ 連結貸借対照表の状況	P9
・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)の状況	P10
・ auカブコム証券・海外現地法人の状況	P13
・ 【ご参考】国内証券会社の状況	P14
・ 財務基盤関連指標(格付・自己資本規制比率)	P15

注)本資料掲載情報は、本頁以降、特段の追記がなければ表示単位未満は切捨て記載しております。
また、海外拠点の決算日は連結決算日と3ヶ月異なるため、累計業績推移・四半期業績推移は1～3月の実績となります。

累計業績推移

- 財務ベース業績は、純営業収益 798億円(前年同期比+62%)、経常損益 124億円、親会社株主に帰属する当期純損益 85億円
MUSAを含む実質ベースでは、純営業収益 939億円(同+36%)、経常損益 112億円、親会社株主に帰属する当期純損益 75億円
前年度第1四半期に計上した米国顧客との取引に起因した損失(約△290億円)が剥落し増収増益。当該影響を除けば、実質ベースでは減収減益
- 国内拠点は、発行市場規模縮小を受けてプライマリー関連収益が減少し、減収減益。一方、トレーディング損益は相場変動時の収益機会を捕捉し伸長
- 海外拠点は、米国顧客との取引に起因した損失が剥落し大幅増収も、キャピタル・マーケット業務、フロー・プロダクツ業務とも減速

(単位: 億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※)		
	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率
純営業収益	491	798	+62%	690	939	+36%
販売費・一般管理費	697	733	+5%	840	884	+5%
経常損益	△132	124	—	△78	112	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△141	85	—	△100	75	—

四半期業績推移

- 四半期業績は、財務ベース、実質ベースとも前四半期比減収減益
- 国内拠点は、プライマリー関連収益の減少を主因に減収減益。但し、好調なトレーディング損益やストック資産拡大が寄与し、経常損益は前四半期並みを維持
- 海外拠点は、金利上昇・クレジットスプレッド拡大・株価下落を受けてフロー・プロダクツ業務で苦戦

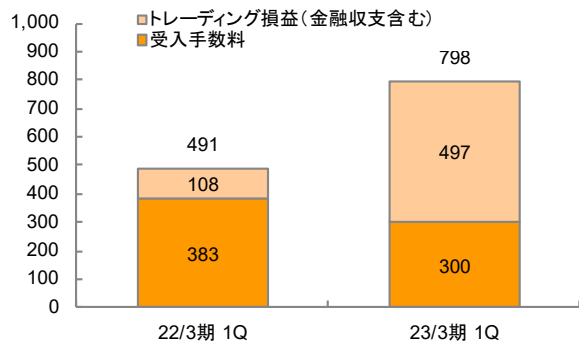
(単位: 億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※)		
	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	前四半期比 増減率	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	前四半期比 増減率
純営業収益	883	798	△9%	1,087	939	△13%
販売費・一般管理費	771	733	△5%	928	884	△4%
経常損益	176	124	△29%	221	112	△49%
親会社株主に帰属する当期純損益	92	85	△8%	126	75	△40%

※ MUFGセキュリティーズアメリカ(MUSA)は、2017年3月期3Qより米国ブルデンシャル規制対応のため当社の連結対象外となりましたが、社内収益管理は引き続き同社を含めて行っているため、合算ベースを記載しております。

累計業績推移

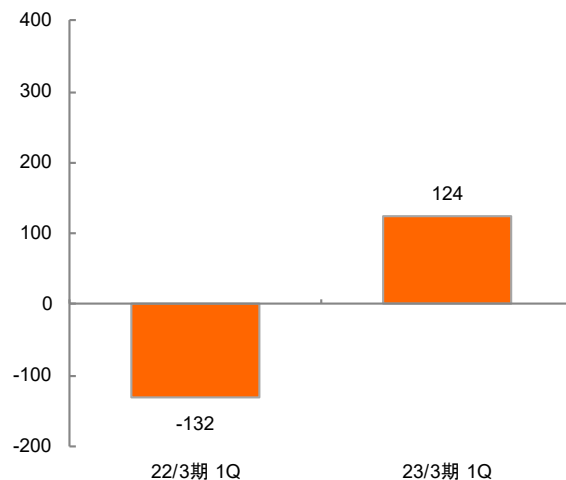
純営業収益

(単位:億円)



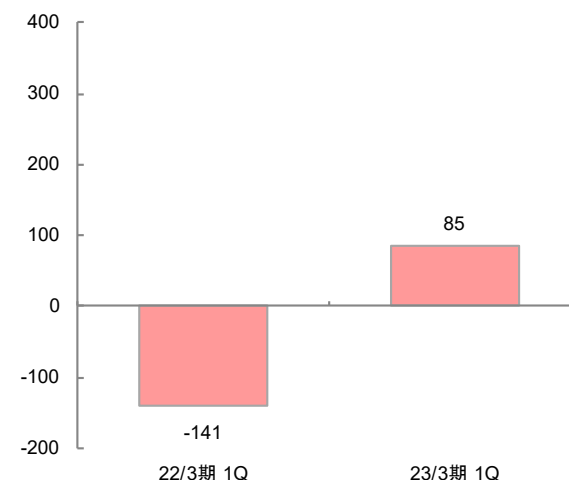
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

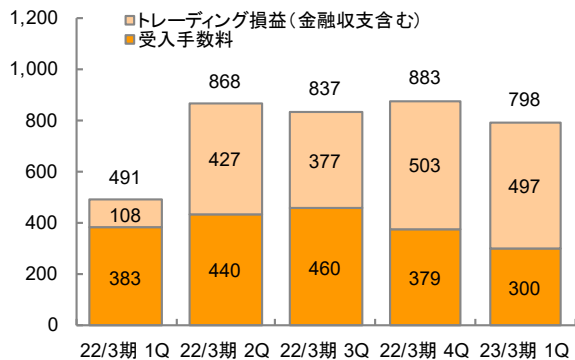
(単位:億円)



四半期業績推移

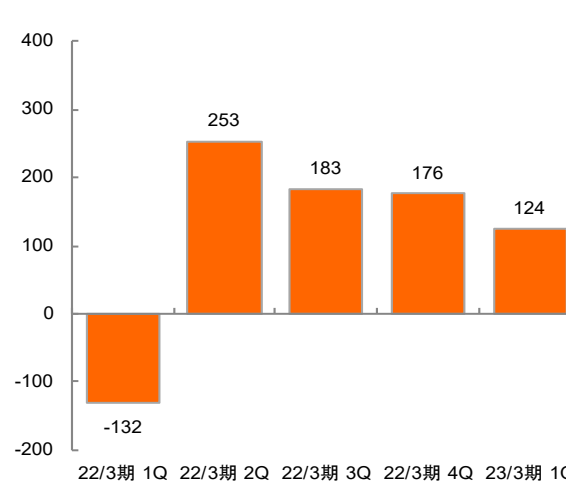
純営業収益

(単位:億円)



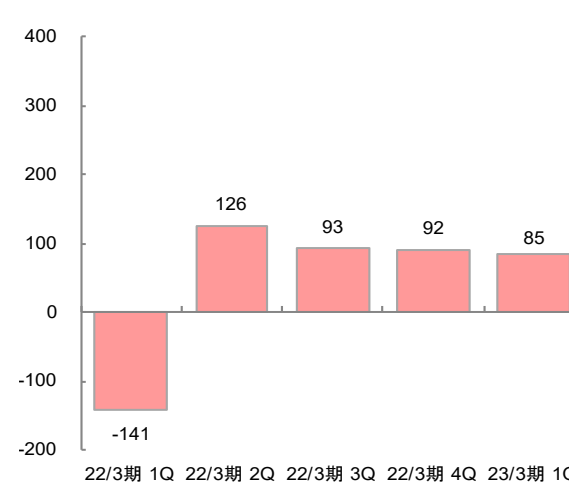
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

(単位:億円)



受入手数料

第1四半期実績: 300億円

■ 前年同期比 $\Delta 82$ 億円 ($\Delta 21\%$)

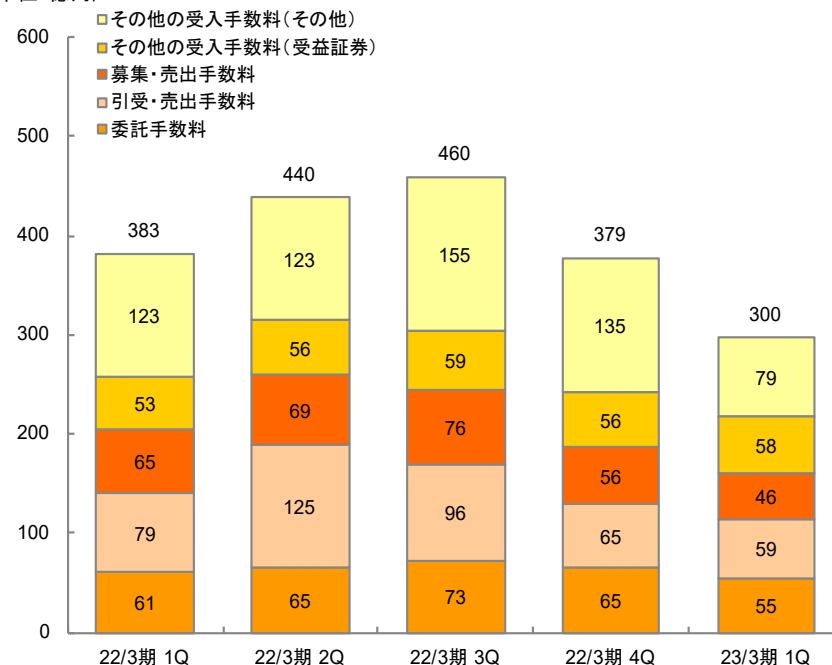
- 委託手数料: 軟調な株式市況を背景に減収
- 引受・売出手数料: 大型劣後債・外債案件を獲得も、金利上昇・株価下落に伴う発行市場規模縮小の影響が大きく減収
- 募集・売出手数料: 市況要因もあり株式投信販売額が減少
- その他受入手数料(受益証券): 株式投信の着実な積上げにより、資産残高が拡大
- その他受入手数料(その他): M&A収益が減少

■ 前四半期比 $\Delta 78$ 億円 ($\Delta 20\%$)

- これまでのストック資産拡大に向けた取り組みが寄与し、その他受入手数料(受益証券)が唯一増加

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)
委託手数料
引受・売出手数料
募集・売出手数料
その他の受入手数料(受益証券)
その他の受入手数料(その他)
合計

2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率
61	55	$\Delta 9\%$
79	59	$\Delta 24\%$
65	46	$\Delta 29\%$
53	58	+10%
123	79	$\Delta 35\%$
383	300	$\Delta 21\%$

2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	前四半期比 増減率
65	55	$\Delta 15\%$
65	59	$\Delta 9\%$
56	46	$\Delta 16\%$
56	58	+5%
135	79	$\Delta 41\%$
379	300	$\Delta 20\%$

トレーディング損益・金融収支

第1四半期実績: 497億円

■ 前年同期比 +389億円 (+359%)

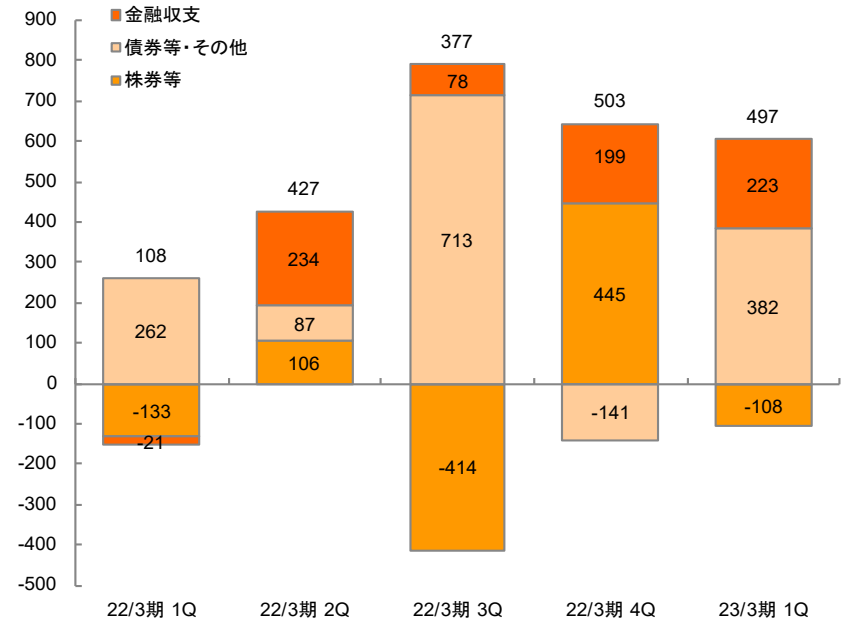
- エクイティ業務
 - 国内拠点: 外国株式のフローが低調で減収
 - 海外拠点: 米国顧客との取引事案に起因する損失が剥落し増収
- フィクストインカム業務
 - 国内拠点: レーツ・クレジット・デリバティブが好調で大幅増収。レーツは金利上昇時のポジション運営が奏功、クレジットは米金利上昇を踏まえ外債の顧客フローを捕捉したほか、金利・為替系仕組債関連デリバティブも堅調
 - 海外拠点: 金利デリバティブの復調により増収

■ 前四半期比 △6億円 (△1%)

- エクイティ業務
 - 国内拠点・海外拠点とも苦戦
- フィクストインカム業務
 - 国内拠点: 全業務が高水準で推移し、大幅増収
 - 海外拠点: 金利上昇・クレジットスプレッド拡大を受けMBSやクレジットで苦戦

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率
株券等	△133	△108	—
債券等・その他	262	382	+45%
金融収支	△21	223	—
合計	108	497	+359%

(単位: 億円)	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	前四半期比 増減率
株券等	445	△108	—
債券等・その他	△141	382	—
金融収支	199	223	+12%
合計	503	497	△1%

(単位: 億円)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率
エクイティ業務	△112	82	—
フィクストインカム業務	145	227	+56%
合計	34	310	+821%

【ご参考】管理会計ベース(※)

(単位: 億円)	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	前四半期比 増減率
エクイティ業務	184	82	△55%
フィクストインカム業務	250	227	△9%
合計	434	310	△28%

(単位: 億円)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率
株券等	184	82	△55%
債券等・その他	250	227	△9%
金融収支	199	223	+12%
合計	503	497	△1%

(単位: 億円)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率
株券等	184	82	△55%
債券等・その他	250	227	△9%
金融収支	199	223	+12%
合計	503	497	△1%

※MUMSSとMUSAを含む海外拠点の管理会計ベース計数を単純合算して記載しております。

販売費・一般管理費

第1四半期実績: 733億円

■ 前年同期比 +35億円 (+5%)

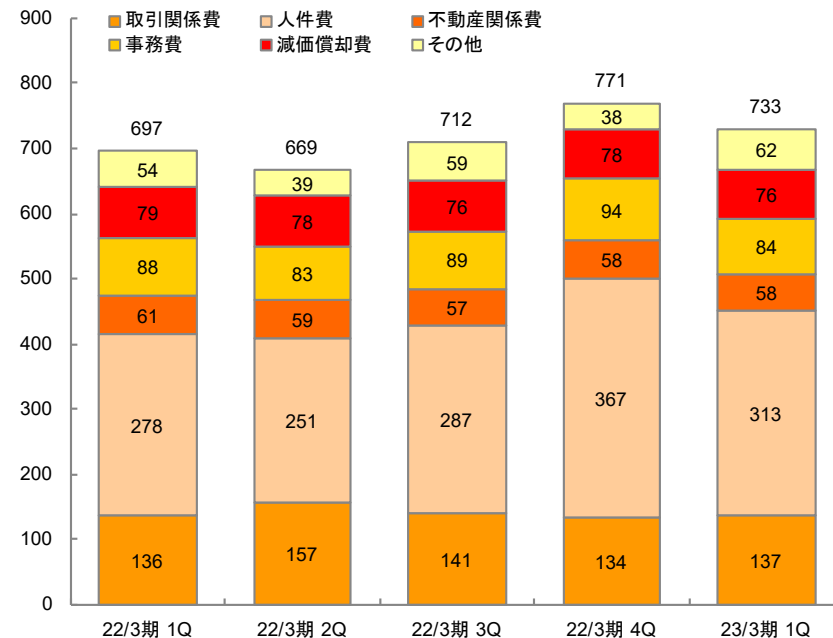
- 国内拠点: 固定費の抑制運営継続や業績連動の取引関係費が減少
- 海外拠点: 為替影響に加え、業績連動の賞与・取引関係費が増加

■ 前四半期比 △38億円 (△5%)

- 主に海外拠点の退職給付制度に関連した一過性費用が減少

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)

(単位: 億円)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同期比 増減率	2022年3月期 4Q	2023年3月期 1Q	前四半期比 増減率
取引関係費	136	137	+0%	134	137	+2%
人件費	278	313	+12%	367	313	△14%
不動産関係費	61	58	△3%	58	58	+0%
事務費	88	84	△4%	94	84	△10%
減価償却費	79	76	△4%	78	76	△2%
その他	54	62	+15%	38	62	+64%
合計	697	733	+5%	771	733	△5%

取引関係費	136	137	+0%	134	137	+2%
人件費	278	313	+12%	367	313	△14%
不動産関係費	61	58	△3%	58	58	+0%
事務費	88	84	△4%	94	84	△10%
減価償却費	79	76	△4%	78	76	△2%
その他	54	62	+15%	38	62	+64%
合計	697	733	+5%	771	733	△5%

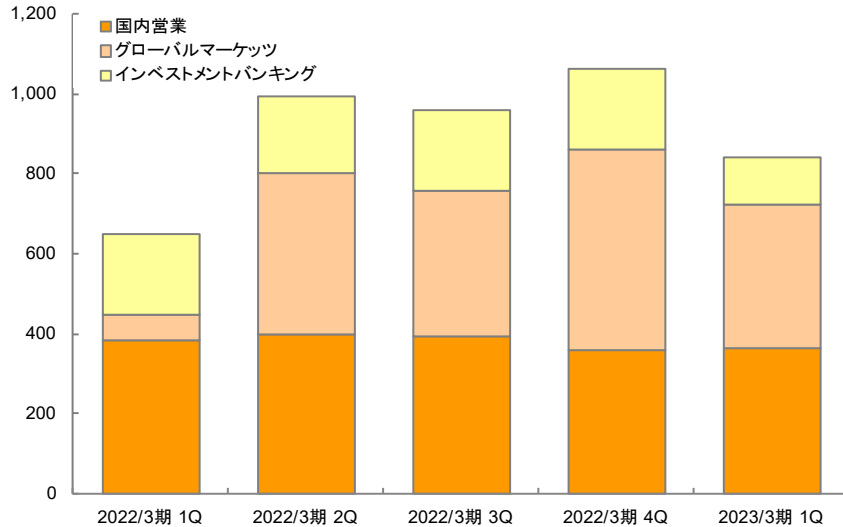
取引関係費	136	137	+0%	134	137	+2%
人件費	278	313	+12%	367	313	△14%
不動産関係費	61	58	△3%	58	58	+0%
事務費	88	84	△4%	94	84	△10%
減価償却費	79	76	△4%	78	76	△2%
その他	54	62	+15%	38	62	+64%
合計	697	733	+5%	771	733	△5%

業務別概要(第1四半期実績)

- 国内営業は健闘も、インベストメントバンキングとグローバルマーケットが前四半期比減収
- 国内営業：不透明なマーケット環境ながら、米金利上昇を捉えて外債の顧客フローを捕捉したほか、アセットアドバイザービジネス推進により積み上げてきたストック資産拡大が寄与し、前四半期比横這いを維持
- グローバルマーケット：国内拠点はフィクストインカム業務におけるポジション運営奏功や顧客フロー取込みで堅調も、海外拠点が前四半期好調だったストラクチャード・ソリューション業務の反動減とフロープロダクツ業務で苦戦し、前四半期比減収
- インベストメントバンキング：国内拠点・海外拠点とも前四半期比減収。国内拠点はM&A関連収益が減少、海外拠点は米金利上昇による起債市場低調で証券化や債券引受が苦戦

推移

(単位:億円)



※MUSAを含む管理会計ベースで記載しております。

単位：百万円

累 計

	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q
営業収益	69,015	86,759
受入手数料	38,337	30,070
トレーディング損益	12,944	27,413
その他の営業収益	3	4
金融収益	17,730	29,271
金融費用	19,839	6,899
純営業収益	49,175	79,860
販売費・一般管理費	69,768	73,311
営業損益	△20,592	6,548
営業外収益	7,765	7,046
営業外費用	402	1,122
経常損益	△13,229	12,472
特別利益	—	0
特別損失	38	520
法人税等	△2,821	33
非支配株主に帰属する当期純損益	3,667	3,397
親会社株主に帰属する当期純損益	△14,114	8,520

四 半 期

2022年3月期				2023年3月期
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
69,015	92,233	94,276	95,756	86,759
38,337	44,068	46,050	37,959	30,070
12,944	19,331	29,889	30,464	27,413
3	0	—	—	4
17,730	28,833	18,336	27,331	29,271
19,839	5,426	10,484	7,405	6,899
49,175	86,806	83,792	88,351	79,860
69,768	66,924	71,220	77,192	73,311
△20,592	19,881	12,572	11,158	6,548
7,765	5,427	6,090	7,221	7,046
402	△48	331	757	1,122
△13,229	25,357	18,331	17,622	12,472
—	126	—	5	0
38	380	940	50	520
△2,821	6,473	4,316	2,616	33
3,667	5,950	3,724	5,666	3,397
△14,114	12,680	9,350	9,294	8,520

単位：十億円

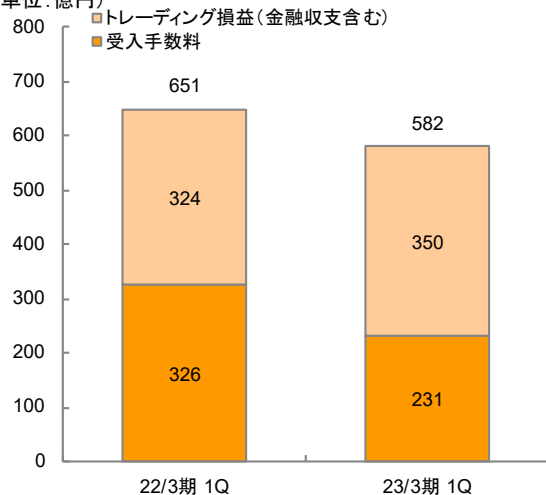
	2022年 3月末	2022年 6月末	増減額
資産の部			
流動資産	31,164	31,017	△147
現金・預金	2,186	2,523	+336
トレーディング商品	12,870	12,070	△800
有価証券担保貸付金	13,227	13,276	+48
その他	2,880	3,146	+266
固定資産	560	667	+107
有形固定資産	26	26	△0
無形固定資産	101	104	+2
投資その他の資産	432	537	+105
資産合計	31,724	31,684	△40

	2022年 3月末	2022年 6月末	増減額
負債の部			
流動負債	28,835	28,776	△59
トレーディング商品	10,432	12,072	+1,640
有価証券担保借入金	10,702	9,220	△1,482
短期借入金	2,874	3,055	+181
その他	4,826	4,428	△398
固定負債	1,879	1,893	+14
社債	896	918	+21
長期借入金	964	956	△7
その他	18	18	+0
負債合計	30,720	30,675	△44
純資産の部			
株主資本	722	723	+0
その他の包括利益累計額	△1	10	+11
非支配株主持分	283	275	△7
純資産合計	1,004	1,009	+4
負債・純資産合計	31,724	31,684	△40

累計業績推移

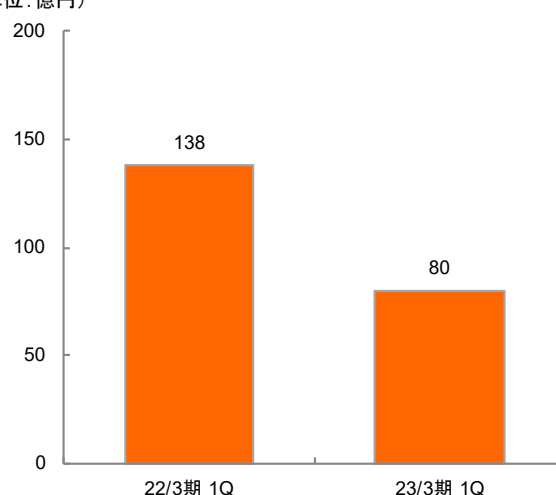
純営業収益

(単位:億円)



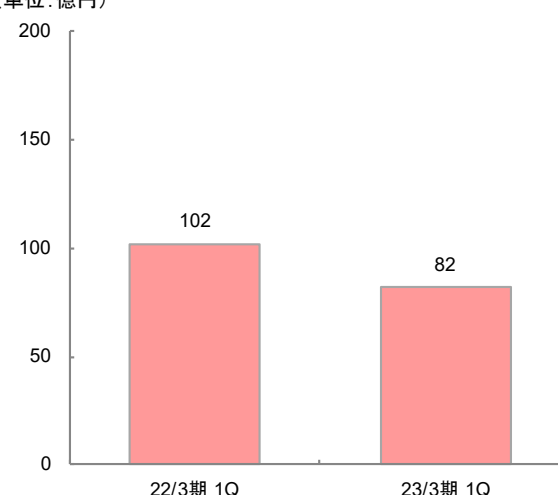
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

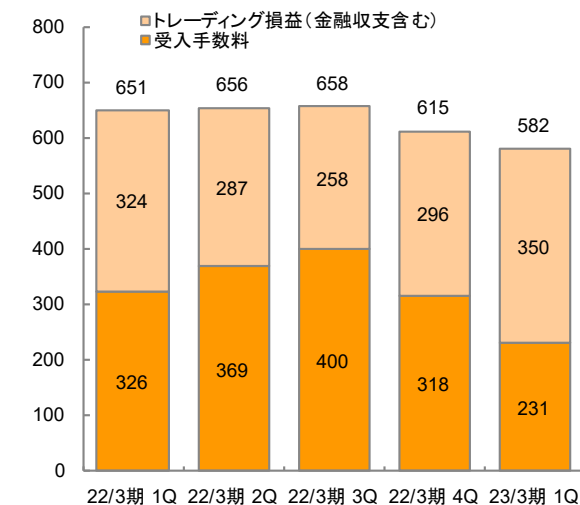
(単位:億円)



四半期業績推移

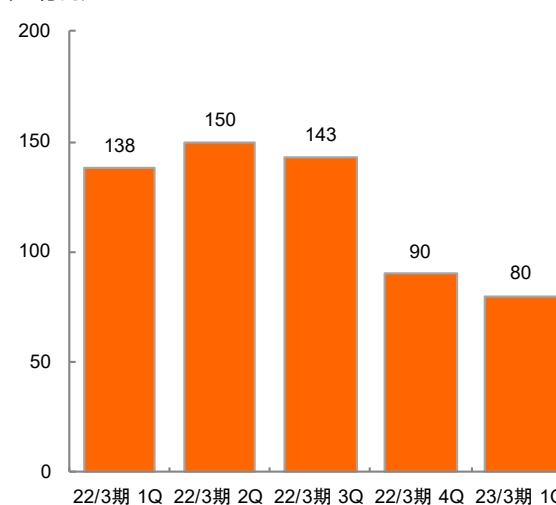
純営業収益

(単位:億円)



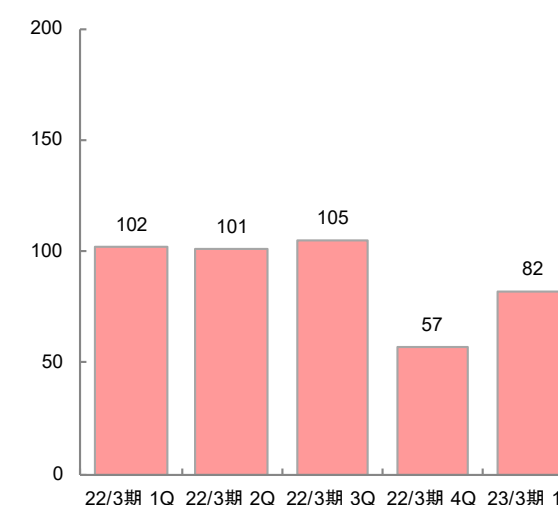
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

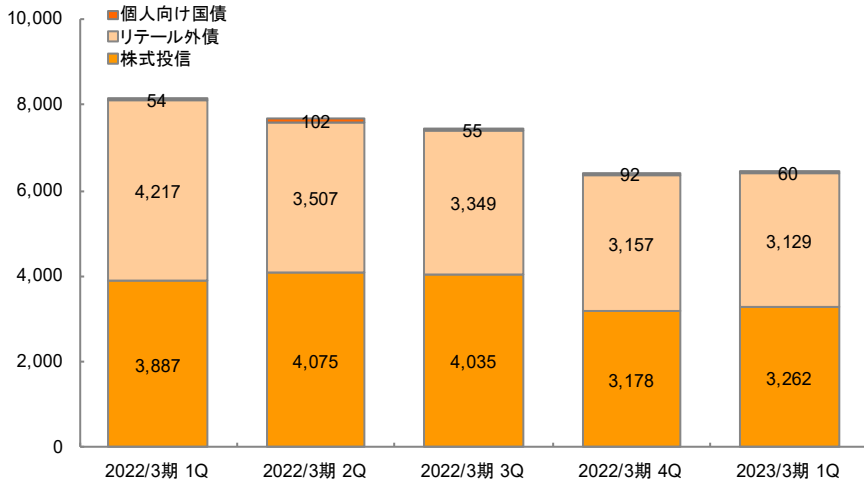
(単位:億円)



営業部門商品販売額

推移

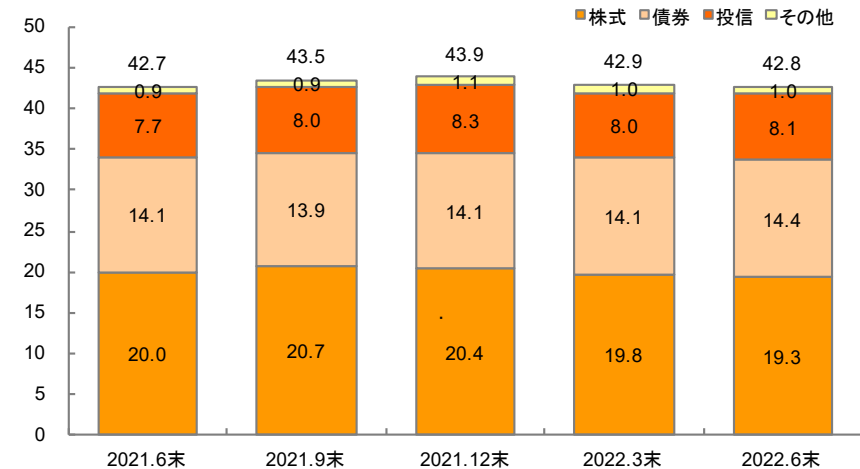
(単位:億円)



預かり資産推移

推移

(単位:兆円)



(四捨五入表示)

投資銀行業務 ～ リーグテーブル(2022年4月～2022年6月)

債券(国内債+外債)総合シェア※1

順位	証券会社	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	20.9
2	野村證券	18.9
3	みずほ証券	18.9
4	大和証券	17.3
5	ゴールドマン・サックス証券	2.9
6	シティグループ証券	2.7
7	パークレイズ証券	2.4
8	東海東京証券	2.3
9	クレディ・アグリコル証券	1.9
10	BofA証券	1.8

国内外エクイティ総合シェア※2

順位	証券会社	シェア (%)
1	大和証券グループ本社	18.8
2	JPモルガン	15.2
3	野村	14.2
4	三井住友フィナンシャルグループ	13.8
5	みずほフィナンシャルグループ	13.2
6	SBIホールディングス	8.2
7	東海東京フィナンシャル・ホールディングス	7.5
8	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	4.4
9	いちよし証券	1.4
10	楽天証券	0.6

M&Aアドバイザー(取引金額ベース)※3

順位	アドバイザー	取引金額 (十億円)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	1,730
2	三井住友フィナンシャルグループ	1,202
3	BofAセキュリティーズ	1,176
4	UBS	1,019
5	野村	805
6	大和証券グループ本社	512
7	Deloitte	511
8	JPモルガン	308
9	シティ	272
10	山田コンサルティンググループ	269

※1: 出所: 国内債はREFINITIV及び同社提供のDealWatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等(高速道路債を含む)、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計
外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成

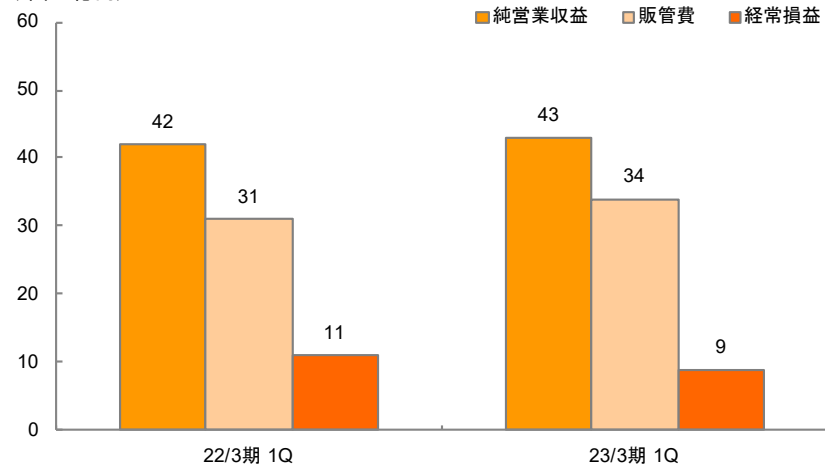
※2: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む

※3: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
日本企業が関わる公表案件(含、不動産取得案件)。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む

auカブコム証券 累計業績推移

推移

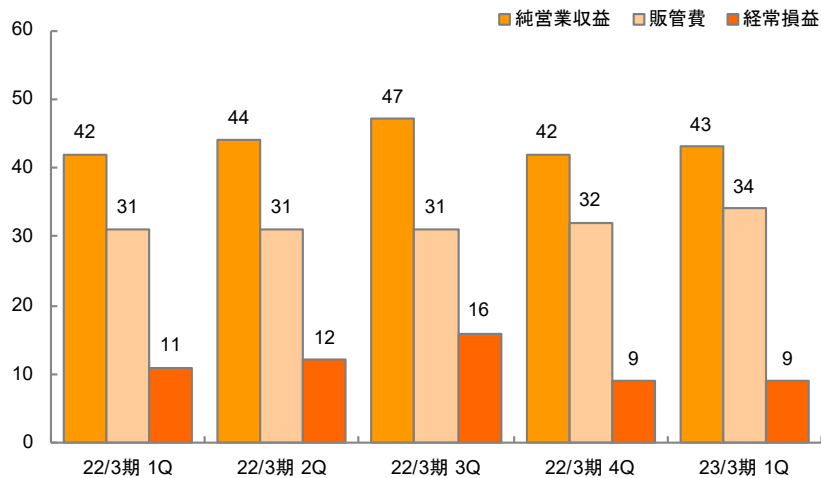
(単位:億円)



auカブコム証券 四半期業績推移

推移

(単位:億円)

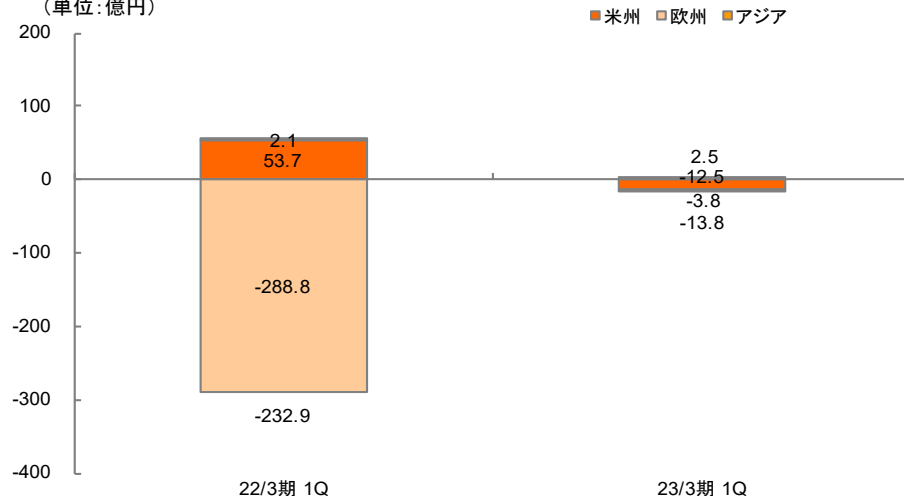


海外現地法人 累計業績推移

経常損益

(単位:億円)

※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。

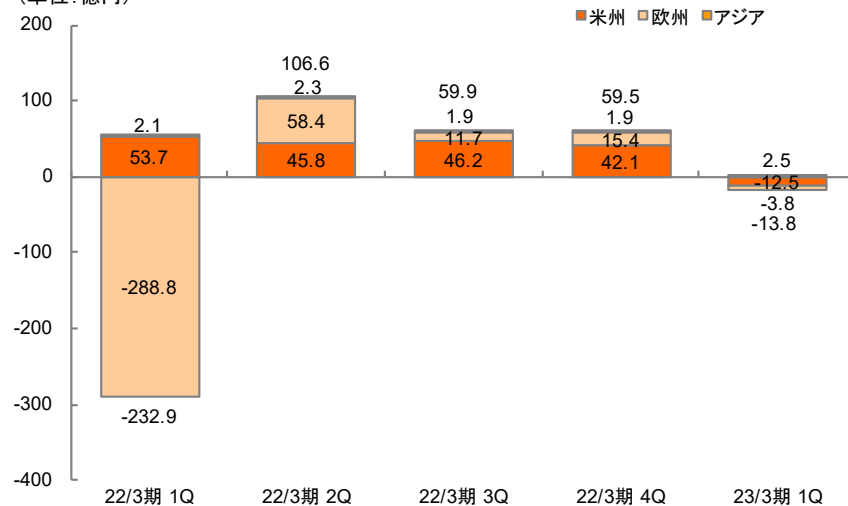


海外現地法人 四半期業績推移

経常損益

(単位:億円)

※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。

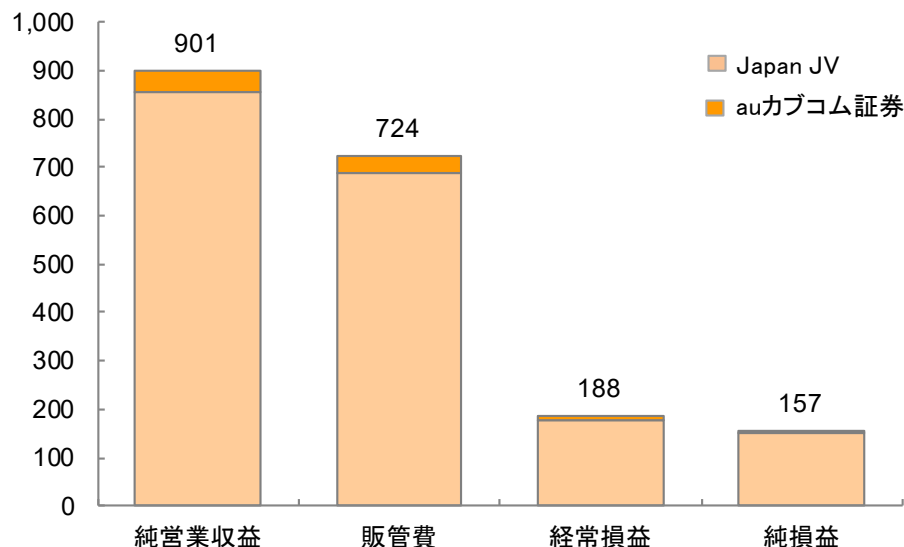


国内証券会社 業績

- 国内証券会社の純営業収益は、単純合算で900億円超を計上
これには、日本におけるモルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーの一つで、持分法適用関連会社であるモルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）の純営業収益も全額含まれている
- 『国内証券会社』は、モルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーである2社（Japan JV）とauカブコム証券の合計3社

2023/3期 1Qの業績

（単位：億円）



※ 単純合算ベースで記載しております。

国内証券会社単純合算（単位：億円）	2023/3期 1Q
純営業収益	901
Japan JV	857
MUMSS	582
モルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）*	275
auカブコム証券	43
販売費・一般管理費	724
Japan JV	690
MUMSS	508
MSMS	182
auカブコム証券	34
経常損益	188
Japan JV	178
MUMSS	80
MSMS	97
auカブコム証券	9
純損益	157
Japan JV	150
MUMSS	82
MSMS	68
auカブコム証券	6

* モルガン・スタンレーMUFG証券は、持分法適用関連会社です。

外部格付

	R&I	JCR	Moody's	S&P	Fitch
--	-----	-----	---------	-----	-------

三菱UFJ証券ホールディングス

長期格付	AA-	AA	A1	A-	-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-2	-

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

長期格付	AA-	AA	A1	A	A-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-1	F1

MUFG Securities EMEA plc

長期格付	AA- **	AA **	A1	A	-
短期格付	-	-	P-1	A-1	-

MUFG Securities (Canada), Ltd.

長期格付	-	-	-	A	A-
短期格付	-	-	-	A-1	F1

MUFG Securities (Europe) N.V.

長期格付	-	-	A1	A	-
------	---	---	----	---	---

*CP格付

**MTNプログラム格付（優先債）

自己資本関連指標

自己資本規制比率 MUMSS

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の当期の自己資本規制比率につきましては、下記URLに掲載しております。

https://www.sc.mufg.jp/company/finance/cp_ratio.html



三菱UFJ証券ホールディングス

本資料は、2022年6月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入または売却の勧誘または推奨を目的としたものではありません。本資料は、2022年7月29日現在のデータに基づき作成されており、本資料に含まれる財務情報等は、監査法人によるレビューの対象外です。本資料に掲載されている事実および見解は、本資料作成時点において当社が認識している事実および当該時点における当社の見解であり、これらの情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。その他、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。なお、本資料のいかなる部分についても、著作権その他一切の権利は当社に帰属しており、電子的方法を含め、いかなる方法または目的であれ、当社に無断で複製、配布、転送等を行うことが禁止されますので、この点をご了承の上、本資料をご覧ください。